

# 令和4年度使用 高等学校用教科用図書についての調査審議結果

- ・令和4年度使用教科用図書採択の観点（高等学校）
- ・令和4年度使用教科用図書採択候補一覧（高等学校）

## 令和4年度使用教科用図書採択の観点（高等学校）

〈〈全日制〉〉

川崎高等学校 1 頁～2 頁

幸高等学校 3 頁～4 頁

川崎総合科学高等学校 5 頁～6 頁

橘高等学校 7 頁～8 頁

高津高等学校 9 頁～11 頁

〈〈定時制〉〉

川崎高等学校 12 頁～12 頁

川崎総合科学高等学校 13 頁～13 頁

橘高等学校 14 頁～15 頁

高津高等学校 16 頁～17 頁

## 教科用図書採択の観点

### 川崎市立川崎高等学校（全日制の課程）

#### 教育方針・学校目標

##### 『こころ豊かな人になろう』

- 自分の良さを伸ばし、将来の夢を見つめて、自分探しに取り組もう
- 自ら知識を求め、追究する過程を大切にし、新たな課題に取り組もう
- 他を認め、思いやる心をつちかい、人類共通の課題に取り組もう

教科	教科の目標、育成したい資質能力など
国 語	○日本語の言葉と文化への理解を深め、基礎力の定着を図り、自分の考えを発展させていく能力を育成する。
地 歴	○基礎・基本的事項の定着と、資料（史料）活用能力の向上ならびに社会的思考力の涵養に努める。
公 民	○基礎・基本的事項の定着と、資料活用能力の向上ならびに社会的思考力の涵養に努める。
数 学	○体系的な学習を通じて、基礎・基本の定着を行うとともに、数学的な概念を育て、論理的な思考力を身に付けさせる。 ○生徒の学力を的確に把握し、きめ細やかな指導に努める。 ○ICT活用やオンライン授業を充実させ、生徒の学力保障に努める。
理 科	○自然事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもった実験・観察を行い、科学的に探究する能力と態度を育てる。
保健体育	○個人及び社会生活における健康・安全について理解を深められるようにする。 ○生涯を通じて自らの健康を大切に考えて管理するとともに、より良く改善していくための資質や能力を身に付ける。
音 楽	○音楽の幅広い活動を通して、感性を高め、生涯にわたり音楽を愛好する心情を養う。 ○音楽文化についての理解を深め、表現するための基礎的な能力を身に付け、音楽を創造的に表現する。
美 術	○美術に親しむ活動を通して感性を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を養う。 ○表現したいことを豊かに伝えるために必要な基礎技能について学習し、制作における課題発見や解決のための力を養い、主体的な表現活動を目指す。
書 道	○書に親しむ活動を通して感性を豊かにし、書を愛好する精神を養う。 ○書の古典の学習を通して自己を主体的に表現するための書道の基礎的な能力を身に付け、個性を活かした表現を目指す。

外国語	○世界について広く知り、英語を使って世界に向けて自分の考えを発信する力を養う。 ○自らの課題を設定し、目標に向かって取り組む態度を育てる。	
家庭	○人間の発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭と社会の関わりについて理解させる。 ○生活に必要な知識と技術を習得させ、体験的な授業を通して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と生活に必要な実践力を身に付けさせる。	
情報	○コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得し、情報を主体的に活用する能力を身に付ける。 ○情報モラルを正しく理解し、新しい課題に対して情報を適切に取扱い、問題を解決しようとする姿勢を養う。	
専門	家庭	○専門的な知識を習得させ、上級学校への進学を希望する生徒たちの意欲を高める授業展開を目指す。
専門	福祉	○福祉の各分野について体系的・系統的に理解できるとともに、知識及び技術を習得し、社会福祉の課題について理解を深める。

## 教科用図書採択の観点

### 川崎市立幸高等学校（全日制の課程）

#### 教育方針・学校目標

教育基本法に明示された精神に則り、情操豊かな人間の育成につとめ、一般的な教養を高めるとともに、専門的な知識と技能を習熟させる。

- 1 広く豊かな心と教養を持ち、自主的精神と態度を身につけた誠実清楚な人間を育成する。
- 2 礼儀と秩序を尊重し、責任感と協調性を持ち、社会の変化に対応できる力を育成する。
- 3 確かな学力を身につけ、専門的かつ国際的な視野を持ち、自己の可能性を追求する力を育成する。

教科	教科の目標、育成したい資質能力など
国語	言葉の基本的な概念を習得し言葉の使い方に対する考え方を深めさせる。思考力・表現力・想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、様々な場面で適切な表現ができるようにさせる。古典作品の読解・鑑賞を通じ、伝統的な言語文化への関心を高めさせる。
地歴	基本的事項の定着を図る。生徒の進路実現のため資料を活用する、協働して調査・発表する、体験的な学習を取り組み、社会的思考力を涵養する。
公民	基本的事項の定着を図る。生徒の進路実現のため資料を活用する、協働して調査・発表する、体験的な学習を取り組み、社会的思考力を涵養する。
数学	高等学校数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させるとともに、生徒の身の回りの事柄・事象や図形を数学的に処理する力を伸ばし、論理的なものの考え方、筋道を立てて考える力を育てる。
理科	科学的な内容に対する関心・意欲を高め、基礎的な学力の向上を図り、科学的な思考力・判断力を育成する。
保健体育	心と体を一体としてとらえ、健康・安全についての理解、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。
音楽	歌唱や器楽などの演奏活動、基礎的な音楽理論や音楽史などの知識、作品の鑑賞を通して生涯に渡って音楽を愛好する心情を育てる。
美術	作品の鑑賞と、平面・立体作品の制作を通して知識、造形力、発想力を育成し、生涯に渡って美術・デザインを愛好する心を育てる。
書道	日本及び中国の古典・名筆の臨書を通じて技術の向上と鑑賞力を養い、自由な心象の表出としての創作の制作を楽しみ、生涯生活にも書を愛好する心情を培って、書文化の歴史を尊重し、深めようとする姿勢・感性を育てる。
外国語	コミュニケーションの手段としての基礎的・基本的な英語の運用能力の向上を図る。生徒の生活実態

	に即した題材を用い、英語を主体的に学ぼうとする意欲を引き出す。英語学習を通じて、自他の言語や文化について興味を持たせ、自分を取り巻く世界について深く考えさせる。
家 庭	家庭生活の各分野を幅広く学び、将来の生活に生かせるよう、幅広い視点で生活を営める人材を育成する。
情 報	高度情報化社会を生きるのに必要とされる、知識、技能、モラルなどを身に付け、情報化社会に主体的に向き合える人物を育成する。
専 門	商業の各分野に関する幅広い知識と技術を習得させるとともに、論理的思考力、グローバル・コミュニケーション力を伸ばし、産業界で求められる人材を育成する。

## 教科用図書採択の観点

### 川崎市立川崎総合科学高等学校（全日制の課程）

#### 教育方針・学校目標

- 教育目標
- 真理を探求し、高邁な人格の育成に努める
  - 教養を高め、豊かな創造力と健全な批判力の育成に努める
  - 専門（工業・理数）の知識と技術を習得し、勤労を愛する精神の育成に努める
  - 心身を鍛錬し、明朗にして良識ある社会人の育成に努める

校 訓 『誠 実』『勤 勉』『強 健』

教科	教科の目標、育成したい資質能力など
国 語	生徒が希望する進路実現のために意欲と学力の伸張を図るための指導の工夫と充実、これからの中等教育への理解を深める。 1 基礎学力の育成。全校的な意識の伸張と高校生として必要とされる語彙力の育成を目指す。 2 言語活動の充実 進路実現に向けて、自分の言葉で書く・話すことができるようになるための、きめ細やかな指導を行なう。
地 歴・公 民	生徒が現代社会における様々な事象や課題に対し高い関心をもつよう指導するとともに、それらへの考察に必要な地理的、歴史的基礎知識、及び、政治的、経済的、社会学的基礎知識を修得するべく指導する。
数 学	数学における概念や原理・法則についての理解を深め、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養い、数学のよさが認識できるようになるとともに、それらを的確に活用する態度を身に付けさせる。
理 科	生徒に考えさせるような授業を目指し、課題解決に向け主体的に学ぶ姿勢を養う。
保健体育	新学習指導要領の内容に則し、生涯にわたって健やかな体を培うための身体能力と知識を定着させ、個人に応じた豊かなスポーツライフを実現する資質や能力を育成するとともに、個人生活及び社会生活における健康・安全に関する内容を総合的に理解できるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育てる。
芸 術 (音楽)	幅広い芸術活動を通して豊かな感性を育み、創造的な表現力と鑑賞能力を伸ばす。また、芸術の諸能力を高めるとともに、芸術文化についての理解を深め、将来にわたり芸術を愛好する心情を育てる。 2・3年においては、生徒の興味・関心に応じて発展的な指導ができるよう留意する。芸術関係の進路を希望している生徒や、卒業後の進路で音楽の力を付けておく必要のある生徒については、さらに実力を伸ばすこと目標において指導していく。
外国語	「聞く・読む・話す・書く」の4技能を意識した総合的な指導により、コミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、コミュニケーション能力を養う。 基礎学力の定着を図るだけでなく、自発的に学習する態度を育成する指導法を工夫する。

		生徒一人一人の高度で発展的な課題にも対応できるように、英語力の向上に努める。
家 庭		家族と家庭の役割、生活に必要な衣、食、住、保育、消費等に関する知識や技術を習得するとともに、それらを活用して課題を解決するために物事を理論的に考える力と実践に向けて自分の持っている力を工夫できる力を身に付ける。生活上の知識や技術の習得を生涯の生活設計やキャリアプランニングなどと関連付けて取り扱うことにより、生徒自身が現在及び将来の生活を自立的に営み、男女が共に協力して家庭を築いていくという実践的な態度を育てる。
情 報		社会との関わりの中で、情報や情報技術に関する事柄を理解し、社会のモラルに反することなく実践することを通じて、豊かな情報社会の創造を実現できる学力を身に付けさせる。
専 門	工 業 情報工学	社会における情報化の進化に即応し、その幅広い分野に対応できる応用力と創造力のある柔軟性を備えた情報技術者の育成を目指し、コンピュータに関連する知識と技術を習得させるとともに、プログラム開発、システム開発・コンピュータ制御などにおいて実際に活用できる能力と態度を育てる。社会人としての豊かな人間性の育成を目指し、集団に溶け込み、明朗で責任感が強く、技術の多様化に順応できる研究心と勤労意欲の旺盛な人物の育成に努める。
専 門	工 業 総合電気	電気・電子・情報に関する基礎的な知識と技術を目指し、生徒の興味・関心に応じて、発電・送電などのエネルギー関係やコンピュータ・電子機器などのエレクトロニクス関係を学習し、時代の先端をゆく専門的な知識と技術を習得させる。社会で活躍できる明朗で責任感のある人物の育成に努める。
専 門	工 業 電子機械	メカトロニクス技術の進歩に適応できる電子機械技術の修得を目指している。ロボット化やメカトロニクス化された新しい技術に適応できる人物を育成するために、広い範囲に応用できる基礎的知識を習得させるとともに、各種の実験や実習を通して専門的知識や技術を体得させる。社会で活躍できる創造性豊かな人物の育成に努める。
専 門	工 業 建設工学	建築の基礎教育や共生を重視した人間教育を目指す。2年次より専門教科を選択する事により、実験設備・測量機器やCADソフトを利用して、土木構造物や住空間を視覚的に学習する。また、現場見学などに積極的に参加し、実践的な専門知識や技術を体得する。
専 門	工 業 デザイン	デザインの基礎的な知識と造形的な技術を学び、創造的な発想力、構想力および実践的な態度の育成を目指している。基礎的な造形感覚の養成、様々なデザイン表現の技術の習得、デザイン思考による問題解決能力やプレゼンテーション能力の育成など、創造性豊かで社会貢献できる人材の育成に努める。
専 門	理 数 科 学	理科・数学における基本的な概念・原理・法則などについて、事象を探究する過程を通して系統的な理解を深める。併せて一般的な教養を高め、理系難関大学への進学を目指している。指導方針として次の4つを置いている。 1 3年間を計画的に活用し、真の実力を養成する。 2 進学に必要な情報を的確に提供する。 3 自己の将来像を明確化し、進学目標の具体化を促進する。 4 豊かな人間関係から、目標達成への推進力を育てる。

## 教科用図書採択の観点

### 川崎市立橘高等学校（全日制の課程）

#### 教育方針・学校目標

真理と正義とを愛し、互いに敬愛の誠を尽くし勤労と責任を重んじ、自主的精神に満ちた心身ともに健康な平和国家社会の形成者の育成。

1. 知性と品性を高め豊かな情操の育成に努める 2. 協同友愛 3. 自治の精神の確立 4. 勤労愛好の習慣の体得

教科	教科の目標、育成したい資質能力など
国 語	1. 基礎基本の定着と、生徒の自主性や協働性を養う。 2. 確かな学力の向上。 3. 問題解決力および自己学習力の育成。
地 歴 公 民	1. 地理・歴史・公民の各分野における基礎学力の定着を図る。 2. 歴史的過程と地理的条件の理解と認識を深めさせる。 3. 現代社会の諸問題を認識させ、様々な観点から考察できる。 4. 多角的な視野から物事を見る力を養う。
数 学	1. 基礎・基本の充実 2. 問題を「解くこと」の楽しさ、「考える喜び・できる充実感」を得られる授業 3. 自学・自習の習慣の定着 4. 高度な問題への取り組み
理 科	1. 生徒が進路希望を実現するために必要な力を養うことができる。 2. 基礎基本の定着と確かな学力の向上 3. 科学的な見方・考え方の育成
保健体育	心と体を一体としてとらえる。健康や安全について考え、生涯にわたって豊かな生活ができるようにする。合理的で計画的な実践を通して、知識や技能を深める。仲間とともに高めあいながら運動を楽しむ。自己の健康状況に応じて、体力の向上を目指す。自ら選んだ選択種目に責任をもって取り組み、生涯にわたって運動に親しむ態度や能力を身に付ける。
音 楽	「実技に取り組むことは考えること、考えることは生きる力」を目標に、自ら考え・取り組み・技能知識を高めていく力を育てる。
美 術	美術の幅広い創造活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め豊かな情操を養う。
書 道	図版の見やすさ・歴史・史料とのつながりがあること。書の伝統と文化に関心を持ち、感性を働かせながら、そのよさや美しさを味わう

	こと。
外国語	相手の意図を的確に理解するとともに、自らの意思や意見をしっかりと相手に伝えられるコミュニケーション能力を養う。
家庭	生徒が主体的に取り組める授業づくりと評価の研究。生徒自身の自立・自律できる力を身に付ける。
情報	自ら深く学ぶ姿勢、並びに自己学習力と応用力の育成を目指す。

## 教科用図書採択の観点

### 川崎市立高津高等学校（全日制の課程）

#### 教育方針・学校目標

1. 個人としての尊厳を自覚し、自主的精神をもって、民主社会で責任ある行動を果たし得る人格を育成する。
2. 学力を充実させ、合わせて、すべての物事に対し適正な判断が下せるように、客観的な思考能力を育成する。
3. 教養を広め、情操を養い、豊かな文化的生活を営み得るよう、人間性の開発と高揚に努力する。
4. 健康的な身体と基礎的な生活能力を養い、勤労意欲を高め、実社会において、着実有能な活動をなし得る人材を育成する。
5. 広く国際社会に視野を広げ、人類共同の連帯感に目覚め、その福祉と発展のために参加し得る人間を育成する。

教科	教科の目標、育成したい資質能力など
国 語	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
地 歴 公 民	(1) 自ら考え、学ぶ態度の育成に努めるとともに「生きる力」を養う。 (2) 基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、学力の定着を図り、個々の学習課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を養う。 (3) 選択発展科目の履修者に対し、幅広い知識とともに、大学入試に必要な学力及び応用力を身に付けさせる。 (4) I C T機材・視聴覚教材を効果的に用いる研究を行う。 (5) 「アクティブラーニング」や「反転学習」などを一部授業に盛り込み、生徒が主体的に学習に取り組めるように努める。 (6) 大学共通テストにおいて各科目平均点以上を目指す。
数 学	(1) 文部科学省学習指導要領に基づく科目（数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学B、数学Ⅲ）について、各科目の指導目標を踏まえながら教材研究を深め、指導方法については科内の研究協議を活発に行いつつ研究する。効果的なアクティブラーニングのあり方についても研究する。 (2) 数学に関する興味・関心を高められるような授業を展開するとともに、副教材やその他の学習プリント、グラフ作成ソフトなどを用いて、生徒の学力伸長を図る。 (3) 提出課題の内容を充実させ、生徒に学習習慣を身に付けさせる。 (4) 小テストやプレテストを実施して、生徒の基礎学力の定着を図る。 (5) 補習授業（夏季講習等）により、受験に対応できる学力習得の機会を充実させる。 (6) 定期考査においては基本的部分から応用部分、入試レベルの内容まで幅広い難易度の問題を出題し、生徒の数学的思考が深まるように指導する。 (7) 数学検定を実施し、意欲ある生徒を更に育てる。 (8) 観点別評価について、現状を精査してより良い方向を目指す。

(数学)	(9) 模擬試験実施後の振り返り、定期考査での出題に努める。 (10) 川崎市数学部会研究授業に向けて指導方法の工夫や授業見学、情報交換を通し、科全体の授業力をより高める。
理 科	(1) 教科指導の充実 ①自ら学ぶ・考える態度の育成を図る。 ・自分で考え、思考する時間を設けるようにする。 ②基礎学力の定着を図る。 ・問題演習と家庭学習を促す。 ③応用力の育成に努める。 ・学校・自宅で問題演習を取り組ませる。 (2) 豊かな心の育成 ①教養を広め、情操を養う。 ・現在の話題から科学への関心を高め、興味を持たせるようにする。 (3) 安全教育の充実 ①安全への意識向上を図る。 ・危険物や薬品の取り扱い方を学ばせる。 (4) 今日的な教育諸課題への取り組み ①環境教育の充実を図る。 ・現在の課題や社会問題と科学の環境への関わり方を学ばせる。
保健体育	(1) 心と体を一体として捉え、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、集団的な活動や表現活動、コミュニケーション能力を高め、生涯にわたって豊かで、計画的にスポーツライフを継続し、運動に親しむ資質や能力を育てる。 (2) 健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図るとともに、公正、協力、責任などの態度を育て、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。
芸術 (音 樂) (美 術) (書 道)	(1) 幅広い芸術活動を通して教養を広めるとともに、日本をはじめ世界各国の芸術文化や伝統芸能を大切にしようとする態度を育む。指導に際しては、生徒一人ひとりの個性の伸長に主眼をおく中で創作活動を支援し、および表現の能力を高めていく。 (2) 鑑賞および表現活動を通して、鑑賞の能力をはじめ客観的思考力、判断力、言語活動能力を養い、課題の解決に向け主体的に取り組もうとする姿勢を身に付けるとともに、表現に幅をもたせる能力を培う。 (3) インターネットによる情報収集や ICT 機器を利用した表現に関して、機器の利用をさらに促進するため活用方法に関する研究を続け、積極的に授業で使用する。生徒個人およびグループ活動の思考ツールとして、表現活動の一助となるよう位置づける。
外 国 語	(1) 基礎学力の定着を図る。 (2) 自ら積極的に学ぼうとする姿勢を育成する。 (3) 教材の充実に努める。
家 庭	(1) 安全・環境に配慮した生活に関する基礎的・基本的な知識を習得し、実践できる力を養う。 (2) 家庭や地域社会の中で生活課題を主体的に解決できる力を身につけるため課題解決学習を行い、主体的・対話的で深い学びができる

(家庭)	るよう努める。 (3) 選択科目について、専門的学習が深まるような学習内容・教材の精選及びキャリア教育を進める。 (4) 新学習指導要領における学習内容の検討及び評価の研究を行う。
情 報	(1) 情報活用の実践力の育成 ①課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力の育成 (2) 情報の科学的な理解の育成 ①情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と、情報を適切に扱い、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法の理解の育成 ②情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得させ、情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度の育成 (3) 情報社会に参画する態度の育成 ①社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度の育成

## 教科用図書採択の観点

### 川崎市立川崎高等学校（定時制の課程）

#### 教育方針・学校目標

『こころ豊かな人になろう』

- 自分の良さを伸ばし、将来の夢を見つめて、自分探しに取り組もう
- 自ら知識を求め、追求する過程を大切にし、新たな課題に取り組もう
- 他を認め、思いやる心をつかい、人類共通の課題に取り組もう

教科	教科の目標、育成したい資質能力など
国語	国語を適切に表現、理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力、想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
地歴	全世界の歴史的過程や生活・文化などの地域的特色を踏まえ、専門的な知識、概念や技能を習得・定着させ、それらを活用できるよう理解を深める。
公民	倫理・社会・文化・政治・法・経済にかかわる諸問題を取り上げ、学習や議論を通して考えをまとめ、説明できるよう理解を深める。
数学	・数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則に対する理解を深め、数学的な表現や処理の仕方などの技能を習得する。 ・事象を数理的に考察する能力を高め、数学的な活動の楽しさ、数学的な見方や考え方の良さを知る。
理科	自然現象の原理の理解を深める。また、科学的に自然現象を理解・習得する。
保健体育	個人及び社会における健康・安全について理解を深め生涯を通じて自らの健康を適切に管理・改善していくよう、自らの健康を適切に管理し環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。
音楽	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽文化についての理解を深める。
美術	美術の幅広い活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、美術文化についての理解を深める。
書道	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、書の伝統文化についての理解を深める。
外国語	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。異文化に対する理解を深める。
家庭	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
情報	情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器などを適切に活用して情報を収集、処理、表現する能力を養う。

## 教科用図書採択の観点

### 川崎市立川崎総合科学高等学校（定時制の課程）

#### 教育方針・学校目標

- 「ひとづくり」 ○真理を探究し、高邁な人格の育成を努める。  
「創　　造」 ○教養を高め、豊かな創造力と健全な批判力の育成に努める。  
「知識・秘術」 ○専門（工業・商業）の知識と技術を習得し、勤労を愛する精神の育成に努める。  
「鍛錬・良識」 ○心身を鍛錬し、明朗にして良識のある社会人の育成に努める。

校訓 「 誠 実 」 「 勤 勉 」 「 強 健 」

教科	教科の目標、育成したい資質能力など	
国語	生徒が基礎的な漢字や語句・慣用句に興味をもち、正確に使いこなせるように支援を行う。	
地歴	地域や文化・歴史的な出来事の基本的な知識を身に付けられるように指導する。	
公民	社会的な事象・出来事の基本的な知識を身に付けられるように指導する。	
数学	基礎的な計算や図形の基本的な性質を再確認し、基礎基本を重視して学力の定着を図る。	
理科	自然事象に対する生徒の関心が高まるようにする。	
保健体育	教材を精選し、基礎的な知識・技能を身に付けるように指導する。	
音楽	幅広い音楽の活動を通じて、生徒が生涯にわたり音楽への愛好心を育めるとともに、生徒の感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、我が国及び諸外国の音楽文化の理解を深める。	
外国語	学習教材を精選し、基礎・基本を習得できるように指導する。	
家庭	福祉、衣食住、消費生活など基礎的・基本的な知識と技術の習得し、青年期を起点とし自分の生き方を考えさせ、自立して生活できる能力の育成。	
専門	工業	クリエイト工学科では、川崎市の産業界に必要とされる創造性豊かな人材の育成に努めており、「キャリア教育」の充実、「ものづくり」のための技術向上を目指している。また、入学時より電気・電子コース、機械コースに分けて、「資格取得」のための専門教育と「ものづくり」の学習に必要な技能習得の2本の柱で学習を行う。
専門	商業	商業が経済生活においてどのような機能を果たしているかを理解させる。 商業に関する基礎的な知識・技能を習得させ、経済生活に合理的に営む態度・習慣を養う。 商業に従事する者に必要な知識・技術を習得させ、商業活動を合理的・能率的に営む能力を養う。 経済についての正しい心構えを養い、国民の経済生活の向上に貢献するように勤める態度を養う。 経済社会の進展に適応し、さらに進んだ研究をするために必要な基礎的能力を養い、将来の発展に役立てる。

## 教科用図書採択の観点

### 川崎市立橘高等学校（定時制の課程）

#### 教育方針・学校目標

真理と正義とを愛し互いに敬愛の誠を尽くし、勤労と責任を重んじ、自主的精神に満ちた心身共に健康な平和国家社会の形成者の育成をする。

- (1) 知性と品性を高め、豊かな情操の育成に努める。
- (2) 協同友愛
- (3) 自治の精神の確立
- (4) 勤労愛好の習慣の体得

教科	教科の目標、育成したい資質能力など
国語	基礎学力・基礎知識の定着に努める。 聞く・読む・書く・話すの言語活動を通して、コミュニケーション能力の育成を図る。 発展的な学習を通し、生徒の探究心を育成する。
地歴	基礎的・基本的知識の習得と定着を図るとともに、応用力の育成を目指す。 学ぶ意欲の向上を図り、自主的に学習する姿勢を身に付けさせるように努める。
公民	基礎的・基本的知識の習得と定着を図るとともに、応用力の育成を目指す。 学ぶ意欲の向上を図り、自主的に学習する姿勢を身に付けさせるように努める。
数学	基礎学力の定着と自主性や問題解決を引き出す授業展開を目指す。また、学んだ知識・技能を活用できるように努める。
理科	基礎的な知識を習得させるよう努め、生徒の自主性や課題解決力を引き出し、主体的な学習態度を養う。また、理科を学ぶことで日常生活に応用できる力を育てる。
保健体育	健康・安全について理解させ、生涯にわたり運動に親しむ基礎を養う。 個々の能力に応じた各種運動技能を習得させる。 授業を通して他人の意見や考えを理解できる心豊かな人間を育成する。
音楽	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし音楽文化についての理解を深める。

美術	ものを見て感じ、考え方表現する力を育成する。 手作業を通じてそれぞれの素材やその仕組みについて理解させる。 ひとつのことやり遂げる力を育成する。
書道	文字を美の対象として作品を創作したり、さまざまな「書」の美を鑑賞したりすることによって、芸術としての「書」を理解し、「書」に親しむ心を養う。 漢字・仮名の古典の鑑賞、臨書を通して感性を磨き、個性豊かな所の表現能力を養う。
外国語	基礎・基本を大切にし、基礎学力の定着を図るため、わかりやすい授業を展開する。効果的なＩＣＴの活用や主体的・対話的で深い学びの手法を出来るだけ取り入れた授業展開を心がける。
家庭	衣・食・住生活についての基本的な知識を定着させ実技を身に付けさせるとともに、家族、保育、高齢者分野についても理解を深める。
情報	情報を適切に収集・処理・発信するための知識とモラルを習得する。

## 教科用図書採択の観点

### 川崎市立高津高等学校（定時制の課程）

#### 教育方針・学校目標

- 1 個人としての尊厳を自覚し、自主的精神をもって、民主社会で責任ある行動を果たし得る人格を育成する。
- 2 学力を充実させ、合わせて、すべての物事に対し適切な判断を下せるように、客観的な思考能力を養成する。
- 3 教養を深め、情操を養い、豊かな文化的な生活を営み得るよう、人間性の開発と高揚に努力する。
- 4 健康な身体と基礎的な生活能力を養い、勤労意欲を高め、実社会において着実有能な活動をなし得る人材を育成する。
- 5 広く国際社会に視野を広げ、人類共同の連帯感に目覚め、その福祉と発展のために参加し得る人間を育成する。

教科	教科の目標、育成したい資質能力など
国 語	<ul style="list-style-type: none"><li>・生徒たちの学ぶ姿勢を養い、読み書きを中心とした言語活動によって基礎・基本の定着を図る。</li><li>・国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。</li><li>・各教科の基礎となる言語能力を養い、思考力・表現力・判断力を高める。</li><li>・I C Tを活用することで、生徒の探究を促す。</li></ul>
地 歴	<ul style="list-style-type: none"><li>・現実の生活に根ざした、生徒一人一人の疑問を大切にし、社会に対する興味・関心を高める。</li><li>・教材の精選を工夫し、多角的な社会認識を育て、健全な批判力を養い、社会の発展を主体的に担う態度を養う。</li></ul>
公 民	<ul style="list-style-type: none"><li>・現実の生活に根ざした、生徒一人一人の疑問を大切にし、社会に対する興味・関心を高める。</li><li>・教材の精選を工夫し、多角的な社会認識を育て、健全な批判力を養い、社会の発展を主体的に担う態度を養う。</li></ul>
数 学	<ul style="list-style-type: none"><li>・基礎的な計算の原理や法則・図形の基本的性質を再確認する。</li><li>・個々の学力に対応し、基礎基本を重視しつつ向上を図る。</li><li>・数理的な表現力を身につける。</li></ul>
理 科	<ul style="list-style-type: none"><li>・教材・教具を工夫し、分かりやすい授業を開催し、基礎学力の定着を図る。</li><li>・生徒の実情に即した実験・観察の授業の研究を進める。</li></ul>
保健体育	<ul style="list-style-type: none"><li>・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育て、健康の保持増進と体力の向上を図る。</li><li>・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、自らの健康を管理し改善していく能力を育てる。</li></ul>
音 楽	<ul style="list-style-type: none"><li>・一人で、また、友人と音楽を聴き、歌い、奏ることにより、豊かな生活を味わい送り得る市民を育てる。</li><li>・日常生活の中で、音楽を通して豊かな情操を養う。</li></ul>

美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の中にある芸術やデザインに対して、観る・味わう感性を養う。</li> <li>デザインや作品制作により、表現力を探究し、自分の作品を活用して、日常生活を豊かにし得る力を養う。</li> </ul>
書道	<ul style="list-style-type: none"> <li>書を味わい鑑賞する力や文字を丁寧に書く習慣を身に付ける。</li> <li>書で表現する力を養い、日常生活を豊かにする力を育てる。</li> </ul>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本事項の定着を目指し、言語教材の精選を図りながら、学習効果が促進されるように授業展開を創意工夫する。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣食住についての基本的な知識と実践力を学び、豊かな生活を送りうる市民を育てる。</li> <li>日常生活をマネジメントする力を養う。</li> </ul>
情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータソフト WORD、EXCEL、POWERPOINT の基本操作を自分のものに出来るよう育成する。</li> <li>インターネット時代の情報セキュリティから、必要なルールとマナーまで養成する。</li> </ul>